

2021年度

事業計画書



公益社団法人 日本キャンプ協会

2021 年度  
公益社団法人日本キャンプ協会  
事業計画

2021 年度 公益社団法人日本キャンプ協会 基本方針.....	1
キャンプの活動を発展させ、広めていく事業(公益目的事業 1) .....	2
よりよいキャンプを実現する指導者養成の事業(公益目的事業 2) .....	8
キャンプの質の向上につながる研修及び調査研究の事業(公益目的事業 3) .....	1 1
法人事務 .....	1 2

2021 年度  
公益社団法人日本キャンプ協会  
基本方針

2021 年度に日本キャンプ協会は設立 55 周年を迎えます。これまで半世紀以上に渡り、キャンプを専門とする公益法人として、その使命を果たしてこられたことは、私たちの大きな喜びと誇りであると言えます。しかしながら、現在の協会の運営は、大きな転換期を迎えています。昨年、突如として発生した新型コロナウイルスの感染拡大は、日本キャンプ協会の運営にも大きな影響を及ぼしました。各協会では計画していた事業のほとんどは、予定どおりに行うことが出来なくなり、変更または中止を余儀なくされました。その一方で、キャンプブームを背景に、キャンプに関する様々な相談が、各地のキャンプ協会に数多く寄せられています。こうした時代の大きな変化の中で、あらためて、キャンプ協会の在り方が問われているようです。これからも、先行き不透明な状況が続き、厳しい協会運営が予想されますが、『時代の変化を自らが変化するチャンス』と捉えて、これまで取り組んできた「ビジョン 2020」や「事業 3 か年戦略」を継続し、そして、さらに進化させながら、2021 年度の事業方針・計画を推進します。

公益目的事業 1 である「キャンプの活動を発展させ、広めていく事業」では、設立 55 周年記念事業を通じて、出会いと学びの機会を提供します。キャンプブームを背景にした、マスコミや市民、企業などからの問い合わせに対しては、WEB サイト、SNS、CAMPING による情報発信、キャンプインフォメーションセンターで対応します。朝霧野外活動センターでは、新型コロナの感染対策を徹底して行い、安全、安心なプログラムの提供と施設運営を継続します。

公益目的事業 2 である「よりよいキャンプを実現する指導者養成の事業」では、キャンプインストラクター養成講習会に新しい講習形式を導入し、減少が続く養成数の確保に努力します。キャンプディレクターについては、課程認定団体と連携して新規養成数の増加をめざし、有資格者向けの新たな研修会の開発を行います。また、都道府県協会と連携し、新しいキャンプを創造する「キャンプ×◎◎（他専門分野）」＝SDGs へのチャレンジ、キャンプに関心のある人々にキャンプの技術や知識を伝えるキャンプの入門講座（キャンプマイスターの普及）に取り組みます。教員免許状更新講習は、集合講習とオンデマンド講習の 2 つのコースを設け、受講者の確保に努めます。

公益目的事業 3 である「キャンプの質の向上につながる研修及び調査研究の事業」では、「第 25 回日本キャンプミーティング」を設立 55 周年の記念事業と位置づけ、さらに広く社会に開かれた大会運営を行います。調査研究の分野でも、「キャンプ白書 2021」を発行し、コロナ禍のキャンプ動向、安全対策など、今後のキャンプ事業の可能性について情報の提供を行います。

法人事務においては、会議、研修会のオンライン化を推進し、各事業の運営方法や支出の見直しを継続して行います。また、会員サービスの向上をはかるために、現行システムの抜本的な検証を行い、事務局機能のデジタル化（マイページ・ペーパーレス、スマホ決済など）に向けた、中長期計画を策定します。

## キャンプの活動を発展させ、広めていく事業（公益目的事業1）

キャンプの活動を発展させ、広めていく事業では、キャンプがもつ様々なチカラを世の中に発信し、キャンプの素晴らしさを体験できる機会を提供します。都道府県キャンプ協会との連携、他団体との共同、新型コロナウイルス対策などの情報収集などを行うと共に、そこで得られた情報の共有を積極的にはかります。

### 1. 設立 55 周年記念事業

設立 55 周年を記念し、記念式典、都道府県協会の交流会、第 25 回日本キャンプミーティング、朝霧高原キャンプの森、『キャンプ白書 2021』発行のなど、多くの人に関わり集う、記念事業を実施する。

#### (1) 設立 55 周年記念式典

設立 55 周年を祝う式典を行い、キャンピングアワード、記念講演、記念シンポジウム、日本キャンプ協会のネクストビジョンの発表等を行う。

日 程：2021 年 9 月 18 日(土)～20 日（月祝）

会 場：静岡県立朝霧野外活動センター（静岡県富士宮市）

#### (2) 都道府県キャンプ協会の集い

都道府県キャンプ協会の関係者が集い、共に学び、交流する機会を設定する。あわせて、富士山周辺の自然を体感する、周辺キャンプ施設や観光地を巡るツアーを計画する。

日 程：2021 年 9 月 18 日(土)～20 日（月祝）

会 場：静岡県立朝霧野外活動センター（静岡県富士宮市）

#### (3) 朝霧高原キャンプの森

キャンプの楽しさとスキルを 1 日で体験できる『朝霧高原キャンプの森』を開催する。

日 程：2021 年 9 月 19 日(日)

会 場：静岡県立朝霧野外活動センター（静岡県富士宮市）

対 象：地域住民（ファミリー）

#### (4) 第 25 回日本キャンプミーティング（公益目的事業 3-1）

国内外のキャンプ関係者が、日頃の実践や研究の成果を発表し、参加者同士が学び合い、誰にも開かれた大会を開催します。

日 程：2021 年 9 月 18 日(土)～19 日（日）

会 場：静岡県立朝霧野外活動センター（静岡県富士宮市）

#### (5) キャンプ白書 2021 (公益目的事業 3-4)

日本国内のキャンプに関連する最新情報を集めた『キャンプ白書 2021』を発行する。  
コロナ禍の日本国内の状況を海外の方々にも伝えるために、内容の一部は英訳する。

発行日：2022年3月頃

発行数：1,000部

#### < 設立 55 周年記念事業の運営体制について >

記念事業については、執行理事会をはじめ、各運営委員会および実行委員会で作業を分担して行う。

## 2. キャンプに関連する情報の発信及び相談業務

会報誌「CAMPING」の発行、WEB サイト、SNS、メールマガジンなどを活用し、キャンプ情報の発信と収集に努める。キャンプインフォメーションセンターでは、キャンプに関心のある市民、他団体、行政、企業、マスコミなどの相談に対応するとともに、キャンプ文化の醸成のための支援を行う。

### (1) 会報誌「CAMPING」の発行

キャンプの教育的・社会的意義の考察、新しいキャンプスキルの紹介、キャンプ指導者養成講習会、キャンプのイベント情報などを、会員、全国の野外教育関係者、広く一般の人々にも伝えるために、会報誌「CAMPING」を年4回季刊発行する。また、環境保全の視点から「CAMPING」デジタル版の導入を検討する。

NO.	196	197	198	199
発行日	4月15日	7月15日	10月15日	1月15日

発行部数：約 10,000 部/回

### (2) WEB サイト及び公式 Facebook ページの運用

新しくなった WEB サイトの活用を更に積極的に行い、協会に所属する団体の新着情報や活動紹介、国内外の野外教育やキャンプに関する最新情報を幅広く提供する。また、動画による情報発信、会員サービスの充実をはかるために、会員のページの改修計画を立案する。

WEB サイト：<https://www.camping.or.jp>

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/ncaj.sns>

### (3) メールマガジンの配信

キャンプやアウトドアに関心のある人たちを対象に、タイムリーに情報提供するメールマガジン「CAMPING News」を発行する。

発行回数：毎月1回発信

購読者数：約 1,000 人

### (4) キャンプインフォメーションセンター

市民、他団体、行政、企業、マスコミなど、社会からのキャンプに関する問い合わせ窓口として、キャンプインフォメーションセンターを運営する。特に、アウトドアブームを背景に、キャンプに興

味、関心のある個人や組織からの相談が急増しているため、キャンプスキルの紹介、安全な楽しみ方など、キャンプに関連する事項については、積極的に支援を行う。

### 3. 静岡県立朝霧野外活動センターの運営(自然体験活動実践の場の提供)

静岡県教育委員会社会教育課が所管する施設、静岡県立朝霧野外活動センターを県内の野外教育関係団体と協働し、日本キャンプ協会グループとして2007年度より14年に渡り、管理運営してきたが、今年度第4期目の2年目を迎える。これまでの経験と実績を活かし、新型コロナウイルスの感染対策を行い、静岡県内外の様々な社会教育団体及び学校団体が実施する様々な活動を支援し、野外活動の拠点施設として、また、日本キャンプ協会のキャンプの実践の場として、子どもを対象とした長期の組織キャンプを中心に、様々な人々を対象とした活動及び自主事業を提供し、キャンプ並びに自然体験活動の普及に努める。なお、昨年度より朝霧運営委員会を立ち上げ、引き続きセンター運営の適正化をはかる。

#### (1) 自然体験活動事業(自主事業)の実施

計画する主催事業それぞれについて、キャンプ及び自然体験活動の普及のために、新たな地域からの参加者を取り込む努力をしながら、同時にプログラムの充実を行う。

「朝霧高原サマーキャンプ～つながろう富士山～」及び「長期キャンプ指導者養成講習会」は、子どもを対象とした長期キャンプとその指導者養成事業の機会として重要な事業のため、引き続き最優先事項として取り組む。2017年度より開催している「ナビゲーションスポーツ・キャンプ in 朝霧(NSCA)」は、昨年は新型コロナウイルス感染拡大により中止になり4回目の開催となるが、マウンテンオリエンテーリングの大会及び一般の人々を対象としたナビゲーションスポーツの普及の機会として高い評価を受け、認知も進んでいるため、引き続き事業の定着を図る。「朝霧高原ホッとキャンプ」は、不登校児童生徒や引きこもりがちな青少年への対応が十分に整備されていない地域に向けて、広報活動をさらに強化するため、静岡県総合教育センターが運営する「まなぼっと(静岡県生涯学習情報発信システム)」にも団体登録し、事業のより一層の周知と拡充を目指す。

#### 青少年自然体験事業

事業名	日程	対象	備考
朝霧高原サマーキャンプ ～つながろう富士山～	7月4日	小学校5年～ 中学校3年生	事前研修
	8月7日～15日		本研修

#### 野外教育指導者養成事業

事業名	日程	対象	備考
野外活動プログラム実習	4月16日～17日	利用団体の担当者 及び指導者	1泊2日
	11月5日～5日		
長期キャンプ 指導者養成講習会	6月19日～20日	専門学校生 短大生 大学生	全4回参加が必要 8月7日～15日は 朝霧高原サマーキャン プと並行開催
	7月10日～11日		
	8月7日～15日		
	10月16日～17日		
野外教育指導者養成講習会	2022年2月11日～13日	野外教育に興味のある人 青少年団体の指導者 教育関係者	

### 県民自然体験事業

事業名	日程	対象	備考
ちょっといい春感じませんか	4月24日～25日	家族・小グループ	
ナビゲーションスポーツ・ キャンプ in 朝霧	9月4日～5日	家族・小グループ	
ステキな秋をあなたに	10月2日～3日	家族・小グループ	
オリエンテーリング in 朝霧	11月27日～28日	家族・小グループ	
スケートキャンプ	11月5日～6日	家族・小グループ	
	12月10日～11日		
	2022年1月7日～8日		
	2022年1月14日～15日		
	2022年2月4日～5日		
2022年3月11日～12日			
223(ふじさん)ウォーキング	2022年2月19日	家族・小グループ	静岡県富士山の日
プラネタリウムと星空探訪	2021年3月4日～5日	家族・小グループ	

### 施設開放事業

事業名	日程	対象	備考
プラネタリウム一般開放	原則毎月第3日曜日 春休み・冬休み期間	家族・小グループ	①13:00～14:30 ②15:00～16:15
スケート一般開放	11月～3月の原則日曜日 春休み・冬休み期間	家族・小グループ	①13:00～15:00 ②15:30～17:30
スケートフェスティバル in あさぎり	11月3日 2022年3月6日	家族・小グループ	
朝霧カーニバル	11月7日	どなたでも	
あさぎりっ子スケートクラブ	11月～3月の 水曜日又は木曜日	センター周辺の小学校(5校)に通う児童とその家族	15:30～17:00

### 社会問題に対応した事業

事業名	日程	対象	備考
朝霧高原ホッとキャンプ	2022年2月5日～6日 2022年3月12日～13日	不登校児童・生徒 引きこもりがちな青年	2泊3日

### 自然環境保全に配慮する事業

事業名	日程	対象	備考
走れば山が美しくなる	通年 事業開催時	事業参加者	インターネットによる啓発を中心に実施する

### (2)受け入れ事業の支援

朝霧野外活動センターを利用する社会教育団体及び学校団体に対して、新型コロナウイルスの感染対策を行い、実地踏査や事前の利用打ち合わせも含めて、それぞれの団体の利用目的や団体の状況に

合わせたきめ細かい支援をする。各活動の運営方法、計画の立て方、実地踏査の行い方、安全管理と危機管理の方法及び実際のプログラム運営の支援など、研修の実施にあたって必要となる事柄について、個別に対応し、利用団体の実施する研修活動がより効果的なものとなるようにサポートする。

### (3) プログラム開発

- ・2018年度に2回開催した幼児キャンプは、開催する季節と規模を変えて実施し、より効果的な開催の仕方を検討する。
- ・地域の自然、史跡、文化、地質、産業などの資料を収集・整理し、センターで提供できる野外活動プログラムと合わせてまとめ、利用団体に提供できるようにする。

### (4) 地域との協働

- ・これまでに、隣接する富士丘地区をはじめ近隣地域と深めてきた信頼関係のもと、近隣地域の住民が進めている朝霧高原地域の地域振興などの取り組みにも参画する。
- ・新型コロナウイルスの感染対策を行い、地域の住民や周辺施設の職員などを招いて地域懇談会を開催し、朝霧野外活動センターの運営状況を説明するとともに、センターの運営に関する意見や提言を募り、運営に生かす。
- ・国立中央青少年交流の家が推進する「静岡子ども体験フェスティバル」の開催に協力して、朝霧野外活動センターを会場にして、朝霧カーニバルと同日開催する。この事業は、地域住民、地域の施設、県内外の青少年教育施設及び社会教育団体などの参加を得て、朝霧高原地域のイベントとして実施できるようにする。

## 4. 地域の関係団体との連携

青少年教育団体、自然学校、公益法人、NPO 法人、キャンプ場、教育機関、民間企業などと、キャンプ関連情報の発信、指導者養成、キャンプの普及活動を展開し、野外教育関連団体のネットワークを拡充する。

- ・WEB サイトのリンクによる各種情報の共有、発信、指導者の派遣（公益目的事業 1-2）
- ・課程認定団体によるキャンプ指導者の養成（公益目的事業 2-1）
- ・キャンプに関するイベント、講座の協働（公益目的事業 1-2）

## 5. 他団体と共同で行う事業

青少年教育団体である日本 YMCA 同盟、東京 YWCA、ボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟、日本キャンプ協会が協力して、「人を育てるキャンプ」の素晴らしさを広く社会に伝え、未来のリーダー養成につながる活動を行う。

## 6. 国内外の情報の収集と提供

日本キャンプ協会が加盟する国際キャンプ連盟（ICF）、アメリカキャンプ協会（ACA）をはじめとした海外のキャンプ関係団体とのネットワークを活用して、国内外のキャンプ情報の収集と発信をする。

### (1) 国外情報の提供

海外で行われるキャンプ会議、国際大会、イベント、最新のキャンプ活動や研究、新型コロナウイルス対策などの情報を収集し、WEB サイトや SNS、CAMPING、メルマガなどを通じて、国内に広く情報発信をする。

- ・ ICF アカデミーの紹介など
- ・ 第 12 回国際キャンプ会議 2021 in China の情報提供
  - 日時：2021 年 10 月中旬
  - 会場：北京国際カンファレンスセンター
  - テーマ：与/世/界/为/营 ～ONE WORLD ONE CAMP～
- ・ アメリカキャンプ協会年次総会(ACA National Conference)
  - 日時：2022 年 2 月中旬

### (2) 国内情報の海外への発信

日本のキャンプ事情をはじめ、日本のキャンプ指導者養成制度、調査や研究成果、新型コロナウイルス対策などを広く世界に紹介し、世界のキャンプ文化の発展に貢献する。

- ・ 国際キャンプ連盟による「Thanks to Camp」キャンペーンに継続して参加する。

## 7. 都道府県キャンプ協会との事業連携 ～ビジョン 2020 からネクストビジョン 2025 へ～

2017 年度から全国の都道府県キャンプ協会で開催してきた「ビジョン 2020」の取り組みを総括し、「ネクストビジョン 2025」の策定を行い、始動する。

- ・ キャンプの技術や知識の伝承→キャンプの入門講座（キャンプマイスターの普及）の実施など
- ・ 新しいキャンプの創造→キャンプ×◎◎=SDGs へのチャレンジ
- ・ 都道府県協会と日本協会の自立→事務局のデジタル化の推進

## 8. 「キャンプ安全の日」全国一斉キャンペーンの実施

キャンプを楽しく有意義な活動にするためには、キャンプをする一人ひとりの安全意識を高めることが常に求められる。安全対策委員会と都道府県キャンプ協会が協力して、7 月第 3 日曜日に「キャンプ安全の日」全国一斉キャンペーンを、SNS を使って情報発信する。

- ・ キャンプ安全の日：2021 年 7 月 18 日(日) ※7 月第 3 日曜日
- ・ キャンペーン期間：2021 年 7 月 1 日(木)～8 月 31 日(火)

## 9. 都道府県キャンプ協会に対するキャンプ用品・用具の配備

都道府県キャンプ協会の事業で使用するテントは、経年劣化により定期的な更新が必要となる。キャンプの普及事業が、継続して安定的に実施することを目的に、助成金を受けて、キャンプや講習会、イベントなどで使用するキャンプ用品、用具の配備を行う。

- ・ 一般財団法人日本宝くじ協会に助成金を申請(2020 年 10 月に申請済み)

## よりよいキャンプを実現する指導者養成の事業（公益目的事業2）

キャンプ指導者養成事業は、日本キャンプ協会の大切な事業であるが、キャンプの大衆化が進み、誰もがキャンプを手軽にできる時代の到来とともに、キャンプ指導者の必要性が問われています。これからも、キャンプ指導者養成は、社会に役に立つ「人づくり」であることを様々な方法で伝えながら、組織キャンプの楽しさ、有用性を理解するキャンプ指導者の養成に努めます。

### 1. 公認指導者養成

#### (1) キャンプインストラクター養成

初級資格であるキャンプインストラクターの養成は、新しい講習形式を導入して、都道府県キャンプ協会および課程認定団体と連携して実施する。特に、全ての都道府県キャンプ協会において、キャンプインストラクター養成講習会の開催を目指す。

#### (2) キャンプディレクター2級養成講習会

中級資格であるキャンプディレクター2級の養成は、都道府県キャンプ協会および実施承認を得た課程認定団体と連携して実施する。講習会の参加者と登録者数を増やすために、ブロック内での協力を進め、推薦制度の活用を積極的に行う。

#### (3) キャンプディレクター1級養成講習会

上級資格であるキャンプディレクター1級の養成は、日本キャンプ協会が主催して実施する。1級資格者の増強のために、講習会と検定会は集合講習とオンライン講習の2回開催、推薦制度の活用を積極的に行う。また、有資格者向けに新たな研修会を開発します。

##### ○集合講習

日 程：2021年11月21日(日)～23日(火祝)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

##### ○オンライン講習

日 程：2021年12月10日(金)～12日(日)

会 場：オンライン

#### (4) キャンプディレクター1級検定会

キャンプディレクター1級の検定会は、日本キャンプ協会が主催して実施する。

##### ○集合検定

日 程：2022年1月22日(土)～23日(日)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

##### ○オンライン検定

日 程：2022年2月12日(土)～13日(日)

会 場：オンライン

## 2. キャンプ指導者・団体の審査・認定・更新と目標数

(1) キャンプインストラクター新規資格申請者の審査・認定	目標 1,600 人
(2) キャンプディレクター2 級申請者の審査・認定	目標 70 人
(3) キャンプディレクター1 級申請者の審査・認定	目標 30 人
(4) 指導者資格(インストラクター・ディレクター)の更新	目標 6,000 人
(5) 新規課程認定団体の審査・認定	目標 10 団体

## 3. 指導者養成のためのテキスト発行

次年度に向け、キャンプディレクター養成用として『キャンプディレクター必携』の改訂に着手する。

## 4. 課程認定団体指導者研修会

キャンプインストラクター養成講習会およびキャンプディレクター2 級養成講習会を主催する課程認定団体を対象に、カリキュラム、講習方法の説明、講習会の企画、運営、事務手続きなどについての研修会を開催する。また、研修会の義務化に向けた検討を行う。

日 程：2021 年 5 月 8 日(土)

会 場：オンライン研修会

## 5. 都道府県キャンプ協会研修会

全国の都道府県キャンプ協会の運営を担う関係者を対象に、各協会の運営状況などを共有し、効果的な指導者養成、スムーズな協会運営を支援するための研修を行う。

(1) 都道府県キャンプ協会事務局担当者会 (法人事務)

日 程：2021 年 4 月 24 日(土)

会 場：オンライン研修会

(2) 都道府県キャンプ協会指導者研修会

日 程：2021 年 9 月 18 日(土)～19 日 (月祝)

会 場：静岡県立朝霧野外活動センター (静岡県富士宮市)

## 6. 課程認定団体の増強への取り組み

課程認定団体の増強をはかるために、募集活動を展開する。都道府県協会と連携し、野外教育団体、キャンプ場、教育関係者を養成する大学、専門学校などにアプローチする。

## 7. 指導者養成制度改訂に向けた検討

現行の指導者養成制度は、2006 年に運用が始まり 14 年が経過した。この期間、キャンプを取り巻く社会情勢は大きく変化しており、カリキュラム、養成方法、登録制度など、時代に相応しい内容に改訂する必要がある。併せて、指導者養成制度を活用した、新たな対象者へのアプローチも検討する。

## 8. 教員免許状更新講習の実施

3年目を迎える文部科学省認定の教員免許状更新講習は、野外教育の専門職や都道府県キャンプ協会と協力して、教育現場で活用できるキャンプの指導法、基本技術の習得、安全対策などについて学ぶ講習会を全国12会場で実施する。また併せて、新型コロナウイルス対策と集合講習に参加ができない教員向けに、全国からいつでも参加できるオンデマンド講習を導入する。

開催地	会場	開催日
北海道	札幌市滝野自然学園	8/13(金)～15(日)
宮城県	宮城県松島自然の家	8/10(火)
茨城県	茨城県立里美野外活動センター	8/8(日)～9(月)
埼玉県	埼玉県立長瀬げんきプラザ	7/28(水)～30(金)
東京都	国立オリンピック記念青少年総合センター	8/6(金)、7(土)、8(日)
山梨県	山梨YMCAグローバルコミュニティセンター	8/11(水祝)
静岡県	静岡県立朝霧野外活動センター	8/4(水)～6(金)
愛知県	愛知県美浜少年自然の家	8/9(月)～11(水)
奈良県	吉野宮滝野外学校	7/23(金)～25(日)
兵庫県	神戸市立自然の家	7/31(土)～8/2(月)
福岡県	福岡県立少年自然の家「玄海の家」	8/20(金)～22(日)
鹿児島県	かごしま県民交流センター	8/5(木)
全国	オンデマンド講習 (18時間)	5/1(土)～10/31(日)
全国	オンデマンド講習 (6時間)	5/1(土)～10/31(日)



## キャンプの質の向上につながる研修及び調査研究の事業(公益目的事業 3)

キャンプがより社会の役に立つためには、その質の向上は欠くことができません。国内外で行われているキャンプの実践や研究についての調査、情報の収集、整理を行い、実践者、研究者に関係資料の提供を行います。また、蓄積した情報については、分かりやすく社会へ伝え、キャンプの社会的な意義がより高まる活動を展開します。キャンプに関心のある人が、出会い、互いに学び合い、実践できる場を支援し、キャンプ文化を育むための働きを行います。

### 1. 第 25 回日本キャンプミーティングの開催

日本全国で活躍しているキャンプ関係者、アウトドア関係者が、日頃の実践や研究の成果を発表し、参加者同士が学び合い、ネットワークを構築することができる機会を提供する。また、助成金を活用しながら、広く一般の方にも参加しやすい開かれた大会を目指します。

日 程：2021 年 9 月 18 日(土)～20 日(月祝)

会 場：静岡県立朝霧野外活動センター(静岡県富士宮市)

### 2. 定期刊行物『キャンプ研究』

キャンプスキルや専門知識を高め、世の中にキャンプのチカラを広く伝えることを目的に、キャンプに関する論文や実践報告、最新動向などを掲載した『キャンプ研究第 25 巻』を発行する。PDF 版を WEB サイトで公開するとともに、課程認定団体や各図書館への所蔵を働きかけ、広く読まれるよう配慮する。

発 行 日：2022 年 1 月 17 日(月)

発行部数：3,000 部/年

### 3. 安全に関する啓発活動

キャンプを安全に行うための情報提供(ハンドブック、小冊子)を、PDF 版の WEB サイト公開や送付などを継続して行う。また、安全に関する最新情報や研究、調査結果を日本キャンプミーティング、指導者講習会などで紹介する。

### 4. キャンプ白書 2021

設立 55 周年の記念事業として、過去 5 年間のキャンプに関する動向についてのデータ調査、分析、コロナ禍の指導者養成、キャンプの実態調査などを編集し、『キャンプ白書 2021』を発行する。

発行日：2022 年 3 月頃

発行数：1,000 部



## 法人事務

事業3か年計画の最終年度である2021年度は、引き続き、各事業の運営方法や支出の見直しを徹底し、運営の効率化を図りながら、健全な財務管理に努めます。同様に、都道府県キャンプ協会と協働して、キャンプ事業の普及、振興のために、役員及び運営委員とともに、事業内容、運営について継続して協議を行います。

### 1. 諸会議の開催

- (1) 定時社員総会：2021年6月13日(日)
- (2) 理事会：2021年5月22日(土) / 2022年3月5日(土)
- (3) 執行理事会(年10回程度)
- (4) 運営委員会 / 実行委員会等

各会議体は、基本方針事業計画に基づき、理事会(執行理事会)からの任命により、定められた期間において、事業計画の目的を達成するために、責任と権限を与えられて、協議と運営を行う。また、執行理事会との連携を図るために、随時、執行理事会に提案、報告などを行う。

名 称	目 的
CAMPING 編集委員会	CAMPING の企画、編集
指導者養成委員会	課程認定団体指導者研修会の企画、運営 指導者養成制度の検討 D1 養成講習会、検定会の企画、運営
地域連携委員会	都道府県キャンプ協会の支援 各ブロックの連携事業の検討 各ブロック会議の議題確認など 都道府県協会指導者研修会の企画、運営
ビジョン推進委員会	ビジョン 2020 の検証 ネクストビジョン 2025 (仮称) の提言
総務委員会	事業計画・予算の編成、執行状況のチェック 事業計画外事業、人事などの協議、決済、承認
安全対策委員会	キャンプの安全に関する検討、提言
朝霧野外活動センター運営委員会	朝霧野外活動センターの運営に関する委員会

※執行理事会をはじめ、各運営委員会および実行委員会で作業を分担して行う。55周年記念事業に関する実行委員会、部会は公益目的事業1に記載する。

※地域連携委員会は、ネクストビジョンの事業推進をはかるために、必要に応じて、ビジョン推進委員会を合同で開催する。

※総会、理事会以外の会議は、原則的に全てオンライン会議とする。

(5) 他団体と共同で行う事業に関するもの

名 称	目 的
青少年教育 5 団体連絡協議会	5 つの青少年教育団体が協力して「人を育てるキャンプ」に関連する事業の企画、実施
中央青少年団体連絡協議会世話人会	文部科学省との意見交換会、研修会、新年互礼会など

## 2. 都道府県キャンプ協会との連携

都道府県キャンプ協会と日本協会が相互に自立するために、ブロック内外の連携を推進し、有益な情報の提供をはかり、それぞれの実情に合わせながら、効果的な事業活動を支援する。

(1) 都道府県キャンプ協会事務局担当者会

日 程：2021 年 4 月 24 日(土)

会 場：オンライン研修会

(2) 都道府県キャンプ協会指導者研修会（公益目的事業 2-5）

日 程：2021 年 9 月 18 日(土)～19 日（月祝）

会 場：静岡県立朝霧野外活動センター（静岡県富士宮市）

(3) 都道府県別ブロック会議への参加

- ・会議回数増による情報共有とコミュニケーションの促進

(4) 都道府県キャンプ協会の行う諸事業の支援

- ・会報同封サービスの提供

※会報誌や講習会案内などを CAMPING に同封して会員に安価に送付するサービス

- ・WEB サイト用サーバー及び専用メールアドレスの提供
- ・各種情報の提供サポート
- ・都道府県事務局よろず相談会（定期巡回）

## 3. 日常法人事務

事務局業務の抜本的な見直しを行い、アウトソーシングや新たなシステムの導入を含めた、中長期計画を策定し、会員サービスの向上を推進する。また引き続き、各事業の運営方法の改善や支出の抑制に努める。さらに、公益法人として相応しい、寄付金制度の活用方法をあらためて検討をする。

(1) 会員情報管理

(2) 会費等徴収

(3) 事業方針、事業計画、予算管理

(4) 日常経理業務

(5) 事業運営管理

(6) 寄付金、助成金事務

(7) 人事管理、職員研修

(8) 渉外事務

(9) 庶務





**NCAJ**

National Camping Association of Japan

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
国立オリンピック記念青少年総合センター内  
TEL:03-3469-0217 FAX:03-3469-0504  
Email:ncaj@camping.or.jp